

第八中学校区「総合的な学習の時間」全体計画(案)

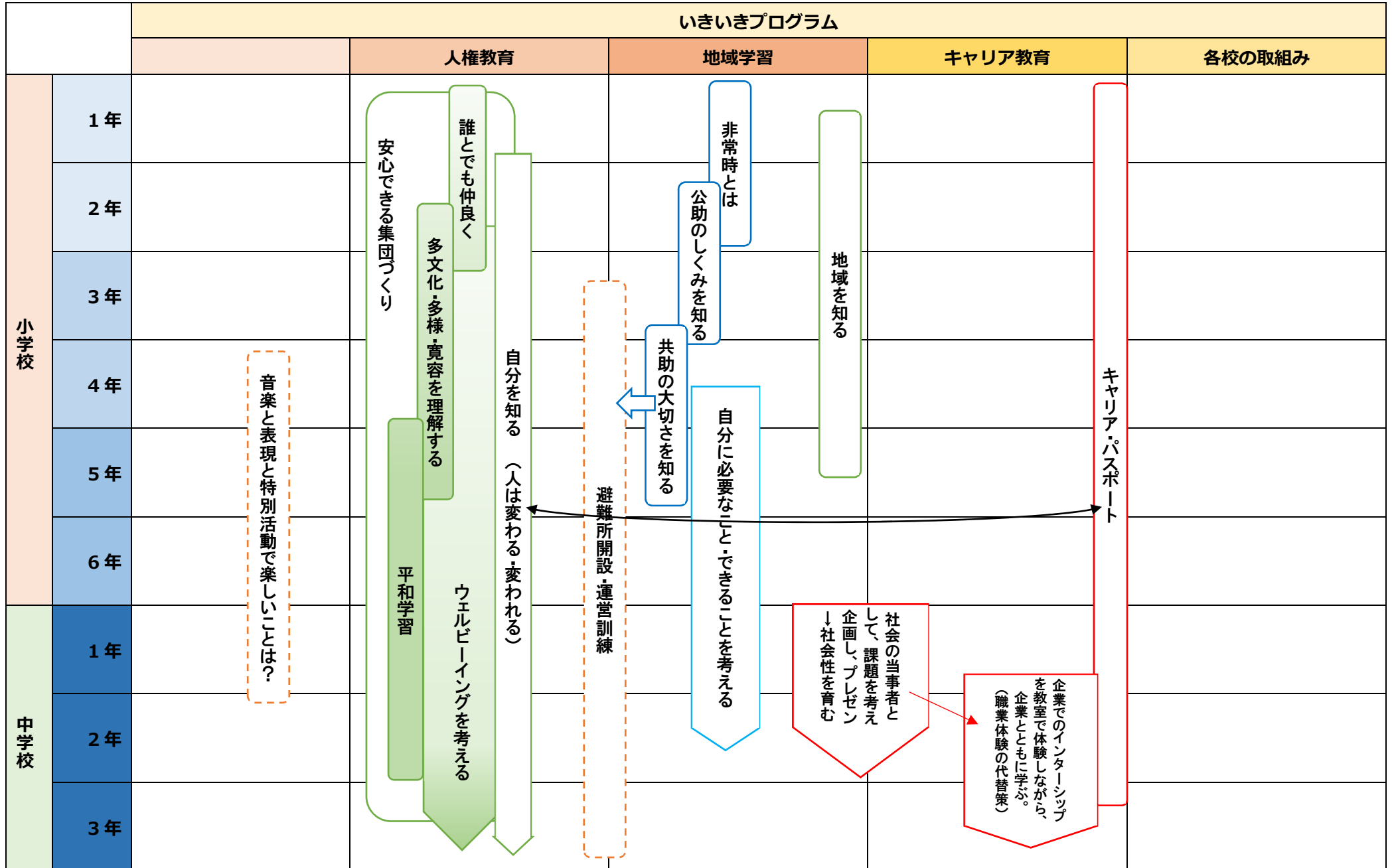
目標	告示(学習指導要領)より
探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指す。	
育成のポイント	
(1) 知識・技能 探究的な学習の過程 22 において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。	
(2) 思考力・判断力・表現力 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	
(3) 主体的に学習に取り組む態度 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。	

校区において定める内容	
校区教育目標	目指すべき子ども像
夢をもち 心豊かに ともに未来を切り拓く	もちあじを大切に、他者とつながりチャレンジする力

探究課題	目的とするところ				
人権教育	人権感覚を養い、自分や友だちへの理解を深め、お互いのもちあじを認め合える人間性、豊かな心を育む。これまでの人権教育に「幸福的倫理学や義務論的倫理学」や多様性など一見難しい学問に子どもたちが、分かりやすくふれることにより、子どもたちに教えるではなく子どもたちが考えるきっかけとなる講座を開き、その前後の道徳その他の教科と連携することによって、ウェルビーイングといった概念や「もちあじ」や「他者とつながる」を大切さの意義を学ぶ。(これ以外に音楽・表現は?)				
キャリア教育	自らの役割の価値や自分と役割との関係を見出していく連なりや積み重ねといった、基盤となる能力や態度を育む。また、現在の職場体験に代わり将来的にはインターシップの実施、様々な業種の社会人とであろうことなど児童・生徒の視野拡大につなげる。				
地域学習	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">防災</td> <td> 災害時、緊急時の学校対応を含めた災害の実情や自助・公助だけでなく共助をふまえた地域防災のあり方をテーマに社会・生活その他の教科と連携し学習しながら、他者とつながることの大切さや日ごろから地域とコミュニティを育むことの大切さを感じ、地域の中で子どもにとって広い交流関係を育む。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">千里のまち</td> <td> イギリスの田園都市「レッチワース」をモデルに日本で初めてのニュータウン都市「千里」を主題材としながら、千里中央地区を除き集合住宅しかない東町、戸建て地区を多く含む北町、電柱がない、地域冷暖房施設があるなど他のまちにない特性など地区探検を通し、SDGsなども意識しながら児童・生徒の興味を引き出しながら主体的に学ぶ姿勢を養う。 </td> </tr> </table>	防災	災害時、緊急時の学校対応を含めた災害の実情や自助・公助だけでなく共助をふまえた地域防災のあり方をテーマに社会・生活その他の教科と連携し学習しながら、他者とつながることの大切さや日ごろから地域とコミュニティを育むことの大切さを感じ、地域の中で子どもにとって広い交流関係を育む。	千里のまち	イギリスの田園都市「レッチワース」をモデルに日本で初めてのニュータウン都市「千里」を主題材としながら、千里中央地区を除き集合住宅しかない東町、戸建て地区を多く含む北町、電柱がない、地域冷暖房施設があるなど他のまちにない特性など地区探検を通し、SDGsなども意識しながら児童・生徒の興味を引き出しながら主体的に学ぶ姿勢を養う。
防災	災害時、緊急時の学校対応を含めた災害の実情や自助・公助だけでなく共助をふまえた地域防災のあり方をテーマに社会・生活その他の教科と連携し学習しながら、他者とつながることの大切さや日ごろから地域とコミュニティを育むことの大切さを感じ、地域の中で子どもにとって広い交流関係を育む。				
千里のまち	イギリスの田園都市「レッチワース」をモデルに日本で初めてのニュータウン都市「千里」を主題材としながら、千里中央地区を除き集合住宅しかない東町、戸建て地区を多く含む北町、電柱がない、地域冷暖房施設があるなど他のまちにない特性など地区探検を通し、SDGsなども意識しながら児童・生徒の興味を引き出しながら主体的に学ぶ姿勢を養う。				
各校の取組み	北丘小学校では、就労支援施設 B 型・障害者生活介護施設が立地しており、インクルーシブ教育において独自カリキュラムを実施しているなどは今後も継続。その他の部分についても各校のこれまでの取組みを継承する。				

つきたい力	自分を知る	つながる	チャレンジする
小1～小4年	自分のよいところを見つける 自分の持ち味がわかる	友だちとたくさん話をする 身近な人に関心をもつ・積極的に にかかわる。 自分の気持ちを伝える	やりたいことを見つけ積極的に取り組む 工夫しながら粘り強く努力する
小5～中1年	過去の自分と違うところを見 つける	他者の個性を理解しようとする 他者を寛容できる 自分の気持ちをわかりやすく伝える	目標を立て、最後まであきらめずに取 組む。
中2～中3年	自分に自信をもつ 自分らしい生き方を考える	互いのよさを活かす 優しさや思いやりなどをもつ	課題の解決に必要な知識・技能を広げ る

第八中学校区（東千里地区）いきいきプログラム



§1 地域防災企画書（案）

1. 学習ステップのイメージと考え方

	つたい力	学習するテーマ		
			地域と避難所運営訓練	
小1・ 小2年	友だちとたくさん話をする 身近な人に関心をもつ 積極的にかかわる 危ないことがわかる	テーマをもってまちを探検し、記録する 避難訓練などを通して「危ない」を学ぶ	危険から身を守ることを覚える 身近な人と避難活動を体験	
小3・ 小4年	まちの仕組みを知る 自分の気持ちを伝える	避難所としての学校施設や消防署（できれば病院も・・・）を知る 過去の災害の事例を学ぶ （被災した人、救助にあたった人を知る） （体験施設で身をもって体験する）	放水・救助訓練を体験する 被災した場合をイメージする	消防署 人と防災未来センター
小5・ 小6年	他者の個性を理解しようとする 他者を寛容できる 目標を立て、最後まであきらめずに取り組む	行政（公助）が対応できることは何？限界はあるのか？を学ぶ 自分は何ができる？を知る	炊き出しを手伝う 炊き出しを運ぶ	
中1・ 中2年	自分の気持ちをわかりやすく伝える 課題の解決に必要な知識・技能を広げる	共助のしくみはなぜ必要か？を考える 共助のしくみは、どうすれば構築できるのかを考える	訓練の企画、検討を地域の人と考える 地域の方と協力して、小中学生ができることを考える	
中3年	自分の将来をイメージする			

・人と防災未来センターの校外学習を中心にした提案です。

理由：東日本大震災より古い記憶となりますが、立地が近いこと、語り部がいること、神戸市消防署員の当時の手記を web 上に公開していること、使用できるかわかりませんが神戸市教育委員会の教材が揃っています。調べ学習、ゲストティーチャーの招聘その他学校現場の学習計画の立案に有利な条件だと思います。阿倍野防災センターは津波のテーマが多いところが千里という土地柄から共鳴しにくいとも考えました。ご検討よろしく申し上げます。

・地域と学校の間関係を整理するイベントとして避難所運営訓練を提案します。

北町、東町とも地域自治組織を構成しており、これまでの担い手を中心に活発な活動をされていると思います。また、千里の分譲マンションは全国的に困難な合意形成のうえ、建て替えをされていることから市民力の高さが伺える地区と認識しております。しかし、担い手の固定化や若手との融合などには課題があると聞き及びます。また、集団下校訓練についても、学校として腐心されている様子。

そこで、年1回地域を巻き込んだ避難所運営訓練を提案します。企画は学校と学校運営協議会・学校地域協働推進本部（学校は当日の児童生徒の学習計画・手順指導）。備品その他の準備活動は学校地域協働推進本部。実施は学校と学校地域協働推進本部で、この取り組みを授業の一環としてみなし休日に実施、全ての教職員が参加するものとし、次の日は振替休日とする。といったものです。こういった取組みを通し、朝の見守り活動や集団下校訓練が地域との協働のもとより良いものとなればと考えます。この案で調整しても良いようであれば、危機管理課、地域連携課、千里公民館など市長部局主体での地元調整を依頼し、コミュニティスクールづくりを進めようと思いま

す。また、現在学び育ち支援課が実施している事業（地域連携移行事業、すこやかネット、地域子ども教室ほか）もコミュニティスクールの一環として整理できればと考えます。ご意見をいただければと思います。

学校運営協議会の構成も地域の方々と相談し、北丘小・東丘小の学校運営協議会メンバーをベースとしながら、8中の学校運営協議会を構成し、連携した意思決定が行えるようにしたいと考えます。健全育成会をどうするかが課題ですが・・・こちらもご意見よろしくお願いします。

§2 地域学習

私を知る千里の特長

- ① 昔はタケノコの産地
- ② 大阪万博のときに日本初のニュータウンとして開発
- ③ 地盤が良いため関東圏の企業のバックアップ施設があるとか
- ④ 電柱がない、近隣センター以外計画されたまちのためコンビニがない
- ⑤ 歩車分離（フットパスが計画されて道路がある）されている
- ⑥ 公共施設面積の比率が高い（緑が多い）
- ⑦ 昔の団地はお風呂がなく近隣センターの銭湯が社交の場であった
- ⑧ URの団地平面は戦後日本の住宅のモデル的住宅
- ⑨ 大阪ガスの地域冷暖房施設がある（レアものです）
- ⑩ PAL・ライフサイエンスセンタービルなどの不動産は証券化され、高度利用化されている
- ⑪ 分譲マンション建て替えの先進事例が多い⇒マンション建て替え円滑化法が制定されたきっかけとなった地区⇒詳しくは豊中市都市計画推進部都市整備課北部整備係まで

興味がある内容があれば、資料をご用意します。

§3 キャリア教育

工業地がなく、商業施設も限られる立地のため、職業体験の実施が困難な地区。代わりに事業者を巻き込んだ探究学習を中1～2に導入することを基軸に学習計画を検討する。その他多彩な職業があることを上記の地域学習のほか、家屋調査士、金融教育、キッチンカーなど児童・生徒の視野が広げられる、興味を持てる学習環境の整備をこれまでの取組みと調整しながらを提案します。

§4 人権教育

これまででも人権教育は取組まれていることと思いますので、多くの提案はありませんが、LGBTQ、多文化、多様性といった保護者、教員と異なる多くの個性に触れ合う機会を設け視野を広げること。寛容の大事さやウェルビーイングについて造詣を深め、無責任はダメですが、多少楽観的な考え方ができるようになれば、チャレンジすることにも積極的になるかもしれません・・・